



令和 6 年度 身延中 学校だより
発行者: 校長 渡邊 史

NO.7 令和6年11月21日

例年になく秋の訪れが遅かった今年は、気温の変動による体調管理が難しい毎日でした。本格的な冬を迎え、風邪やインフルエンザ等、さまざまな感染症への対策も大切になってきます。今年度はストーブではなく、エアコン暖房での生活になります。給油作業もなく快適な生活になりますが、加湿・換気の必要性に変わりはありません。11月後半から12月へと期末試験・生徒会役員選挙・三者懇談と続きます。そしていよいよ冬休みがやってきます。充実した毎日、楽しい年末・年始を迎えられるよう、生活リズムを崩さず、健康的な生活を目指してもらいたいと思います。

「新響」にまた一步前進！合唱発表会

11月16日(土)には、たくさんの保護者の皆様をお迎えして、合唱発表会を開催しました。10月以降、学級・学年・全校で合唱の練習に取り組み、校舎内には歌声が響いていました。日に日にその歌声が力強く、美しい響きになってきて、心が洗われる気持ちになりました。今年度は生徒会スローガン「新響」のもと、輝桜祭でも「心や想いを遠くまで届け、響かせたい」という願いを込めて取り組みました。合唱は歌詞やメロディに込められた想いに、自分たちの想い・メッセージを乗せて表現することができ、また一步「新響」に迫ることができました。そして学級や学年で展開されたドラマが想像でき、「仲間や先生方とのつながり・絆の深まり」「集団としての力の獲得」など、生徒たちの確かな成長を感じ取ることができました。講師の芦澤真一先生からは、各学級・学年、そして身延中学校への心の温まる講評と励ましの言葉をいただき、合唱活動の楽しさを教えていただきました。



思春期体験学習

身延中学校では、「自己の生命及び他人の生命を大切に思う気持ちを育てる」「両親への感謝の気持ち、親になることの意味と責任について考える機会とする」「支え合って成り立つ世の中について考え、他を思いやる心を育てる」等を目的に、例年3年生が「思春期体験学習」を行っています。今年も養護教諭の計画の下、家庭科授業ともタイアップして、様々な方のご協力のお陰で、「事前学習」「赤ちゃん抱っこ体験」を実施することができました。

10月23日(水)には、「ricorino いのちの教室」代表の福田紀恵先生をお迎えして、事前学習として出前講座「中学生に伝えるいのち」(ぴゅあ峡南交流促進事業)のお話をいただきました。私たちの命の誕生から赤ちゃんが生まれるまでの様子、「性とは自分らしい生き方のこと」であり、「心と身体と相手と未来を大切にできる力が必要」など、たくさんのことを教えていただきました。

10月28日(月)・11月11日(月)には、町の子育て支援課の保健師の皆さんにもお世話になり、たくさんの赤ちゃんとお母さんにお越しいただきました。赤ちゃんの発育と発達について学び、実際に赤ちゃんを抱っこすることができました。生徒からは、「赤ちゃんが生まれてくることは奇跡なんだ!」「お母さんの大変さ、赤ちゃんのかわいさを感じた。」「子育ては責任が伴うことが分かった。」などの感想があげられました。



「薬物乱用」の怖さを学ぶ

身延中学校は、今年度「初任者研修授業研修会実習校」(峡南地域で令和6年度に教員として採用された先生方を対象に行われる授業研究会を実施)となっており、11月1日(金)には、早川智翔先生が2年B組で(前の週には2年A組でも)保健体育科の「薬物乱用」に関する授業を行いました。薬物(覚せい剤や大麻等)は私たちの心身や健全な発育、人格形成を阻害するだけでなく、社会にも深刻な影響を及ぼします。2年生は、個人のタブレットのスプレッドシート機能で自分の考えを伝えたり仲間の意見を共有したりして、生徒どうしの協働を通じて自己の考えを広げていきました。本校は今年度の校内研究会(先生方の学びの会)で「授業づくり」と「人間関係づくり」を往還的に捉え、「対話」に視点をあてた研究を進め、「生徒にとってのウェルビーイングな学校づくり」を目指しています。今回のICT機器を上手に使った授業実践は、生徒の学び・先生方の学びを大いに深めるよい機会となりました。



NIE異学年交流タイム

身延中学校では月曜日の朝読書の時間に「新聞学習NIE」を行っています。これは、各新聞社が出しているワークシートを読み取ることで、「社会への関心を高め、自分事として考えを深める力をつけること」「学力の向上」等を目的としています。今年度は上記のように「対話」や「人間関係づくり」を大切に研究を進めており、この新聞学習の時間を使って「異学年交流タイム」を行いました。10月29日(火)の第1回目では、「『もふもふ』5割超に浸透〜『失笑』違う意味で理解67%〜」という新聞記事を使い、自分の考えをまとめ、仲間の意見を聞き、意見交換をして気づいたこと等を活発に交流しました。今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

